



愛知県に対して署名を手渡し、医師確保を要請する会の代表と副市長及び大竹県議  
(12月2日愛知県庁にて)

## みんなの署名と病院関係者の努力で 市民病院に十一名の医師！

昨年の12月2日、「蒲郡市民病院を守る会」は、愛知県知事に対して医師の確保を求める署名を提出しました。病院関係者の奮闘で11名の医師が着任することになりました。

8月9日に「蒲郡市民病院を守る会」を結成し、四ヶ月足らずの間にいただいた署名は、なんと三〇、二四六筆。

会の代表は、足立副市長と大竹県議とともに12月2日、愛知県庁を訪れ、県の担当局長にこの署名を手渡しました。

県も「3万筆は重く受けとめる」

会の代表は、「3万もの署名を集められたのは、市民のみなさんの医療への危機感と市民病院への期待の表れだと思う。県は、本当に必要とされているところに予算を使ってほしい。」と要請しました。

対応した健康福祉部健康担当局長は、「3万筆の署名は非常に重みのあるものと受けとめている。県の有識者会議でも蒲郡の救急医療を堅持すべきとの意見を聞いています。」と回答しました。

消化器内科の外来6月にも再開！

そして、病院関係者の奮闘で11名の医師が着任することになり、消化器外来は6月にも再開の運びとなりました。

## 署名の力の大きさを実感

国民・市民の世論が国や愛知県を動かす！

「署名なんかやったらって医師は来ない。」などという悲観的な声もありましたが、スーパー前でもどこでも行列ができ、市民の関心の高さが伺えました。蒲郡を含めた全国の医師確保を求める運動は国や県を動かしています。愛知県は、医師確保対策費を昨年の6,200万円から5億円(うち4億円は国費)に増額し、県民の要請に応じています。

### 【着任される予定の先生方】

|    |       |    |
|----|-------|----|
| 2月 | 消化器内科 | 1名 |
|    | 皮膚科   | 1名 |
| 3月 | 精神科   | 1名 |
| 4月 | 消化器内科 | 1名 |
|    | 内科    | 3名 |
|    | 皮膚科   | 1名 |
|    | 外科    | 1名 |
|    | 整形外科  | 1名 |
| 5月 | 消化器内科 | 1名 |

減員もあり、5月現在では総勢42名の予定(最も少なかった37名から5名純増)

## 蒲郡市民病院を応援し、地域医療を守りましょう！